

(小規模企業景気動向調査)

# 三重の景況

No.67

(平成 27 年 7 月～12 月期)

三重県商工会議所連合会  
桑名商工会議所  
四日市商工会議所  
鈴鹿商工会議所  
亀山商工会議所  
津商工会議所  
松阪商工会議所  
伊勢商工会議所  
鳥羽商工会議所  
上野商工会議所  
名張商工会議所  
尾鷲商工会議所  
熊野商工会議所

## はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県下 12 商工会議所合同で、地域の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび平成 27 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県下の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、 $\Delta 21.8$  と平成 27 年上期に比べ 9.2 ポイント改善しており、平成 26 年上期の調査から続いた悪化傾向に歯止めがかかりました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業 $\Delta 17.3$ （前期 $\Delta 27.0$ ）、卸売業 $\Delta 32.5$ （前期 $\Delta 40.8$ ）、小売業 $\Delta 49.1$ （前期 $\Delta 49.2$ ）、サービス業 $\Delta 22.1$ （前期 $\Delta 29.3$ ）、建設業 $\Delta 2.6$ （前期 $\Delta 20.7$ ）、飲食業 $\Delta 23.8$ （前期 $\Delta 32.4$ ）、交通運輸業 $\Delta 21.4$ （前期 $\Delta 22.8$ ）、その他の業種 $\Delta 20.2$ （前期 $\Delta 27.4$ ）とすべての業種で改善しています。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区 $\Delta 17.9$ （前期 $\Delta 23.5$ ）、中勢地区 $\Delta 24.5$ （前期 $\Delta 36.4$ ）、南勢地区 $\Delta 24.1$ （前期 $\Delta 36.5$ ）、伊賀地区 $\Delta 26.8$ （前期 $\Delta 33.2$ ）、東紀州地区 $\Delta 40.2$ （前期 $\Delta 51.8$ ）となり、全地区で改善しました。

今回は上記の通り、業種や地区によって水準に差はありますが、いずれも改善傾向となりました。

一方で、「今後の見通し」の D I 値は $\Delta 25.5$  となり、現状の D I 値と比較すると 3.7 ポイントの悪化を見通しています。地区別では、東紀州地区のみ現状の D I 値より改善の見通しとなり、業種別では小売業と交通運輸業のみ現状の D I 値より改善の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目では、いずれの D I 値も前期より改善傾向となっており、地区別で東紀州地区の「販売条件」「仕入条件」がわずかに悪化した以外は改善傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 16.7%（前期 14.0%）と 2.7% 増加、「予定している」とした割合は、全体で 13.6%（前期 12.9%）と 0.7% 増加しました。業種別では、交通運輸業が 29.5% で割合が最も高く、サービス業が 19.6%、製造業が 18.0% と続いています。地区別の実績では南勢地区が 17.5%、北勢地区が 17.4% と続いたほか、予定では北勢地区が 15.0% と最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 1.5（前期 $\Delta 1.4$ ）と 2.9 ポイント改善したほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 14.5%（前期 14.5%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 68.2%（前期 70.1%）、『設備資金』の割合は 27.7%（前期 26.7%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成 28 年 2 月

三重県商工会議所連合会

# も く じ

## ( 調 査 内 容 )

・ <b>調査要領</b> . . . . .	1
1. 現状と今後の見通し . . . . .	4
現況D I 値の推移 . . . . .	6
2. 売上状況 . . . . .	8
3. 今後の売上見通し . . . . .	8
4. 利益状況 . . . . .	9
5. 販売条件 . . . . .	9
6. 仕入条件 . . . . .	10
7. 設備投資 . . . . .	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し . . . . .	11
9. 借入状況 . . . . .	12
借入難易度D I 値の推移 . . . . .	13
10. 借入予定 . . . . .	14
11. 借入希望先 . . . . .	14
12. 借入金の使途予定 . . . . .	15
13. 経営上の問題点 . . . . .	15
・ <b>県下商工会議所地域における景況</b> . . . . .	17
・ <b>調査票（写し）</b>	

# 「三重の景況」調査要領

## 1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県下12商工会議所〔\*1〕が、小規模企業〔\*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔\*3〕に行い、合わせて各会議所地域の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

### 〔\*1〕 県下商工会議所

桑名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴鹿商工会議所	中小企業相談所
亀山商工会議所	中小企業相談所
津商工会議所	中小企業相談所
松阪商工会議所	中小企業相談所
伊勢商工会議所	中小企業相談所
鳥羽商工会議所	中小企業相談所
上野商工会議所	中小企業相談所
名張商工会議所	中小企業相談所
尾鷲商工会議所	中小企業相談所
熊野商工会議所	中小企業相談所

### 〔\*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員5人以下、製造・建設・その他の業種については20人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

### 〔\*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山  
中勢地区……津・松阪  
南勢地区……伊勢・鳥羽  
伊賀地区……上野・名張  
東紀州地区…尾鷲・熊野

## 2. 調査対象・回答状況

県下12議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業9,085事業所を対象とした。回答状況は、回答率31.4%、回答企業2,849事業所であった。

## 3. 調査方法

FAXまたは郵送方法によるアンケート方式

## 4. 調査期間

平成28年1月4日～1月15日

※当調査は、“1月～6月期”と“7月～12月期”の年2回、調査を実施している。

## 5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

## 6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の4商工会議所が担当した。なお、各商工会議所地域の景況は当該商工会議所が担当した。

### DI値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DIとは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### （注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

## 業種別・地区別回答状況

単位:企業 ( ):% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野				
製造業	食料	52	12	29	6	5	24	6	18	12	7	5	6	1	5	17	12	5	111	
	せんい	20	2	9	8	1	5	1	4	0	0	0	4	4	0	1	1	0	30	
	機械	88	37	23	26	2	16	7	9	8	4	4	7	4	3	2	1	1	121	
	金属製品	98	42	26	27	3	11	4	7	11	6	5	4	3	1	3	3	0	127	
	木材	23	9	5	3	6	16	2	14	9	8	1	3	3	0	8	6	2	59	
	化学	7	2	3	1	1	2	1	1	1	1	0	3	0	3	0	0	0	13	
	窯業	24	1	19	4	0	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	27	
	印刷出版	14	6	4	3	1	12	5	7	3	3	0	1	0	1	2	1	1	32	
	その他	80	13	43	18	6	18	7	11	13	8	5	6	1	5	8	6	2	125	
	計	406 (24.1) (62.9)	124	161	96	25	106 (19.8) (16.4)	34	72	57 (20.8) (8.8)	37	20	35 (21.7) (5.4)	17	18	41 (21.1) (6.4)	30	11	645 (22.6) (99.9)	
非製造業	卸売業	食料	20	9	9	1	1	11	4	7	6	5	1	4	1	3	6	5	1	47
		せんい	5	0	4	0	1	4	2	2	5	4	1	1	0	1	0	0	0	15
		その他	55	18	25	8	4	19	5	14	11	8	3	7	3	4	3	2	1	95
		(小計)	80	27	38	9	6	34	11	23	22	17	5	12	4	8	9	7	2	157
	小売業	せんい	35	14	10	7	4	15	4	11	14	12	2	6	3	3	16	10	6	86
		食料	59	14	21	18	6	18	3	15	6	3	3	8	3	5	10	9	1	101
		日用品	14	7	2	3	2	3	0	3	3	1	2	1	1	0	2	2	0	23
		電気製品	17	5	3	8	1	7	2	5	8	6	2	4	1	3	5	4	1	41
		その他	125	33	41	42	9	61	11	50	22	10	12	19	8	11	15	11	4	242
		(小計)	250	73	77	78	22	104	20	84	53	32	21	38	16	22	48	36	12	493
		サービス業	美容・理容	58	9	19	22	8	10	3	7	6	3	3	2	0	2	6	5	1
	ホテル旅館	7	1	2	4	0	4	1	3	12	0	12	0	0	0	6	3	3	29	
	自動車整備	50	11	15	18	6	18	3	15	5	4	1	3	1	2	8	3	5	84	
	不動産	59	13	41	3	2	11	6	5	8	8	0	8	1	7	2	2	0	88	
	その他	116	31	59	17	9	40	15	25	21	18	3	9	1	8	10	5	5	196	
	(小計)	290	65	136	64	25	83	28	55	52	33	19	22	3	19	32	18	14	479	
	建設業	土木工事	98	14	43	34	7	18	11	7	11	6	5	12	4	8	7	7	0	146
	建築工事	179	38	82	50	9	49	24	25	25	17	8	10	5	5	15	10	5	278	
	その他	178	31	103	38	6	56	30	26	19	14	5	11	1	10	10	9	1	274	
	(小計)	455	83	228	122	22	123	65	58	55	37	18	33	10	23	32	26	6	698	
	飲食業	88	19	30	32	7	32	7	25	20	7	13	9	3	6	15	12	3	164	
	交通運輸業	24	4	11	5	4	27	7	20	4	3	1	0	0	0	6	6	0	61	
計	1,187 (70.4) (57.8)	271	520	310	86	403 (75.3) (19.6)	138	265	206 (75.2) (10.0)	129	77	114 (70.8) (5.6)	36	78	142 (73.2) (6.9)	105	37	2,052 (72.0) (99.9)		
その他	92 (5.5) (60.5)	7	69	8	8	26 (4.9) (17.1)	19	7	11 (4.0) (7.2)	6	5	12 (7.5) (7.9)	3	9	11 (5.7) (7.2)	5	6	152 (5.3) (100.0)		
合計	1,685 (100.0) (59.1)	402	750	414	119	535 (100.0) (18.8)	191	344	274 (100.0) (9.6)	172	102	161 (100.0) (5.7)	56	105	194 (100.0) (6.8)	140	54	2,849 (100.0) (100.0)		

# 1. 現状と今後の見通し

## a) 現状（図－1・2・3参照）

全回答企業 2,849 事業所中、「良い・やや良い」が 20.1%（前期 16.0%）、「やや悪い・悪い」が 41.9%（前期 47.0%）で、D I 値は△21.8（前期△31.0）となり前期より 9.2 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、建設業△2.6、製造業△17.3、その他の業種△20.2、交通運輸業△21.4、サービス業△22.1、飲食業△23.8、卸売業△32.5、小売業△49.1 となった。

地区別の D I 値では、全ての地区が改善となった。北勢地区△17.9、南勢地区△24.1、中勢地区△24.5、伊賀地区△26.8、東紀州地区△40.2 であった。

図－1 現状について（業種別）

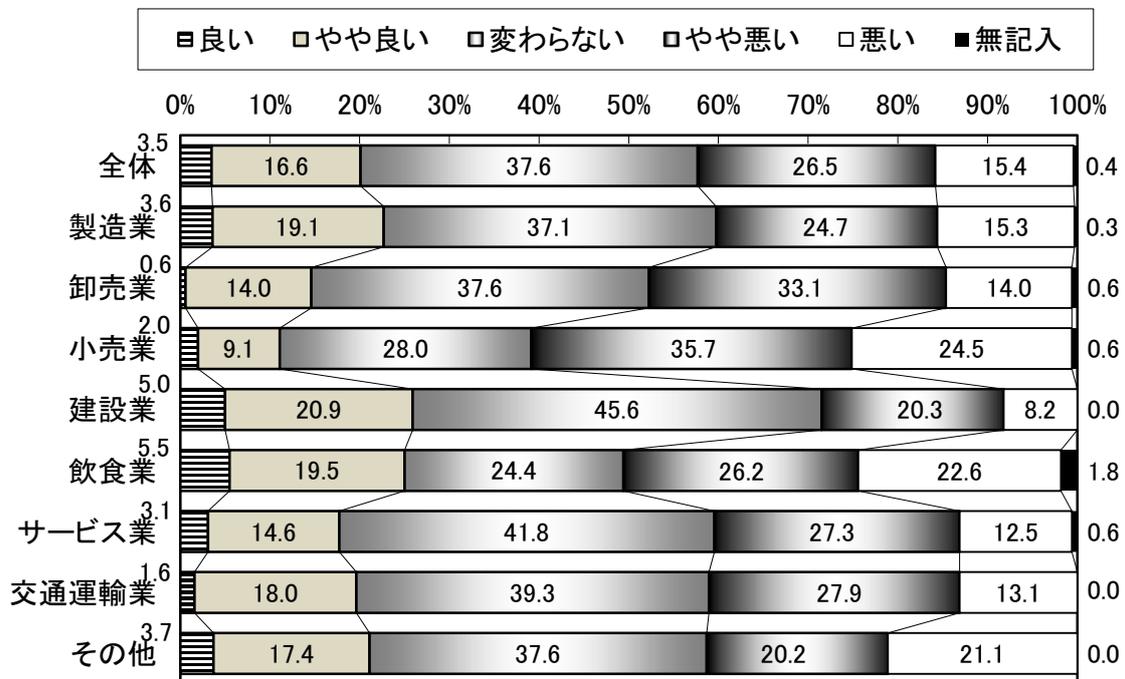
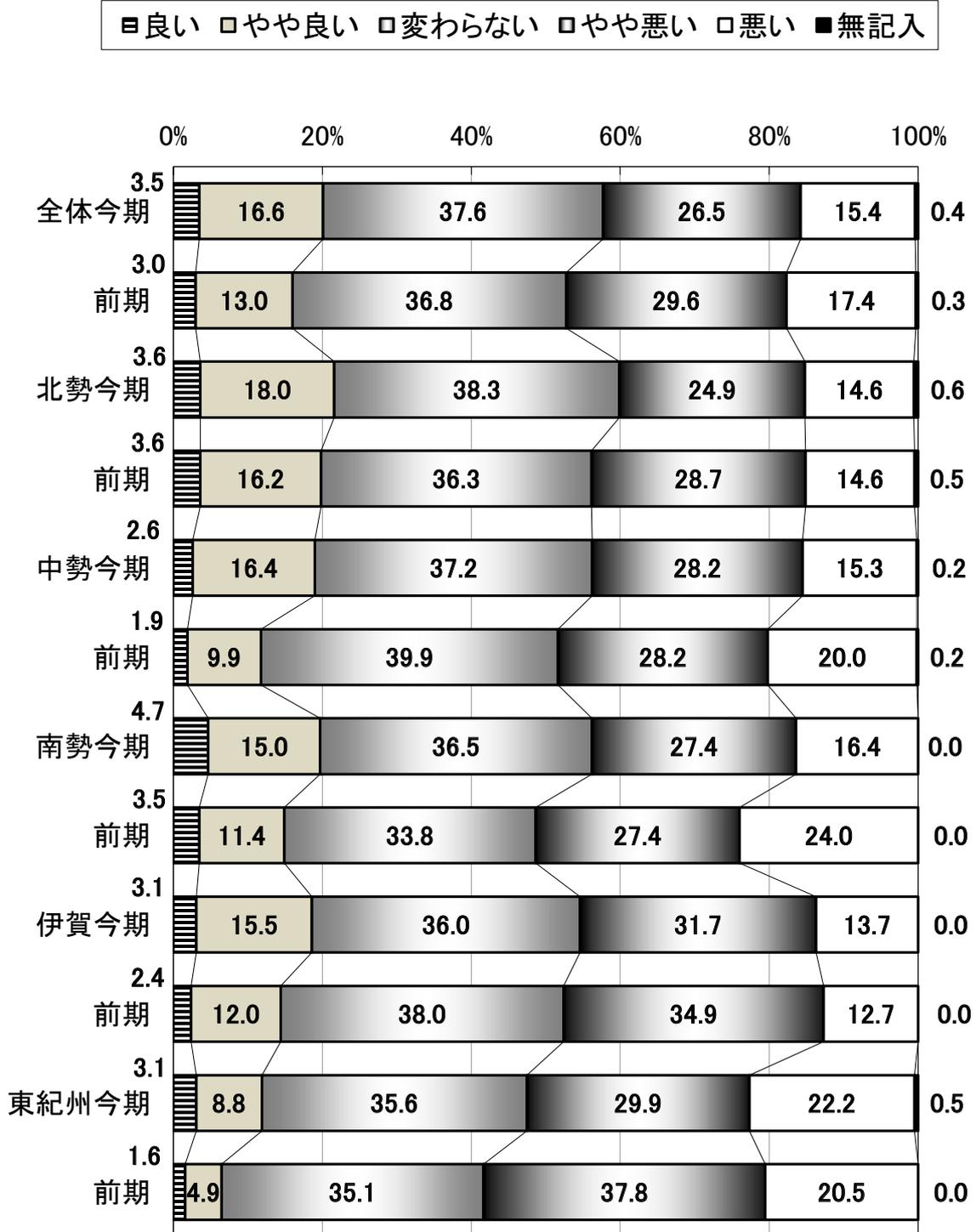
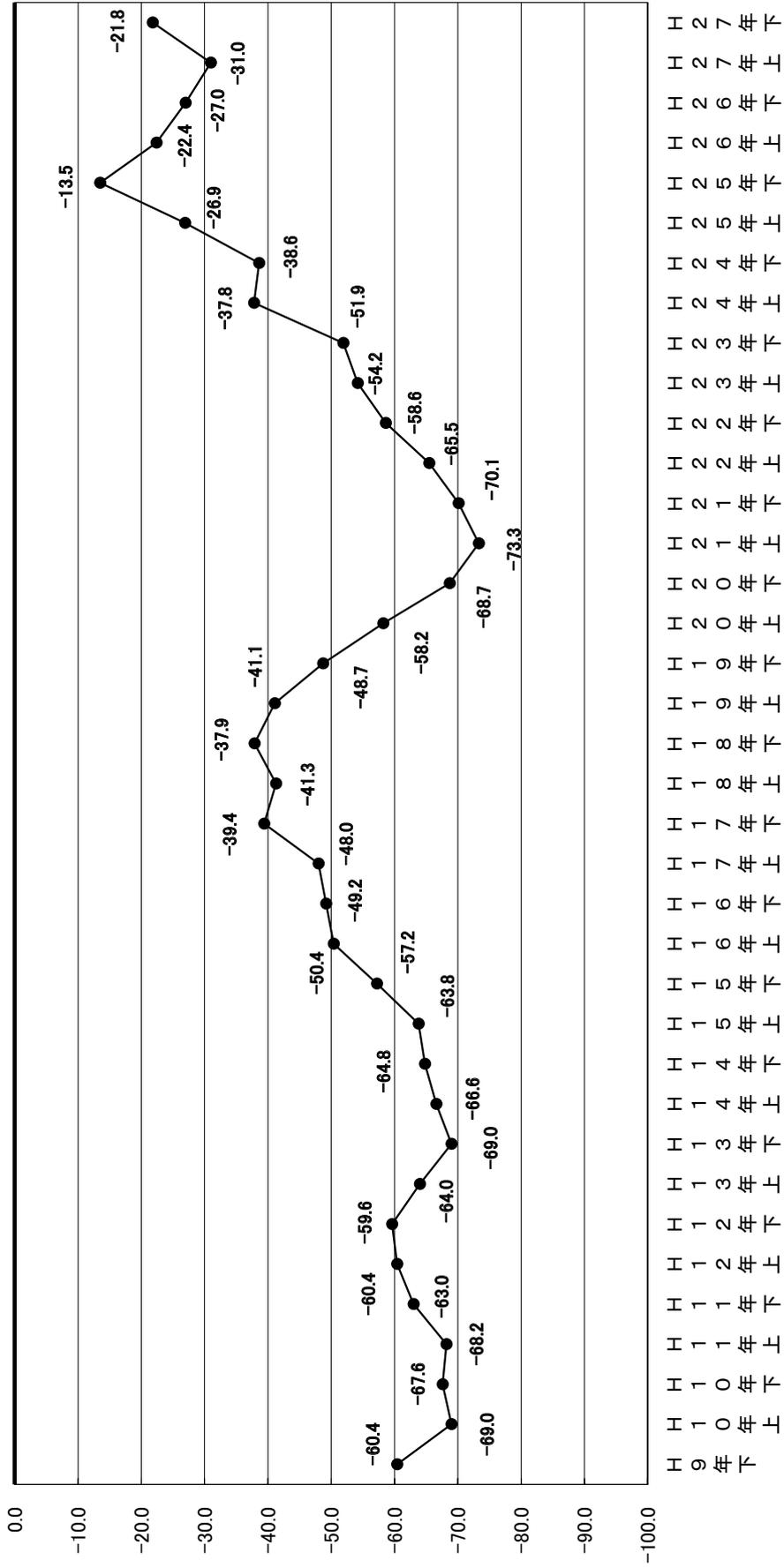


図-2 現状について（全体・地区別）



図一3 現況D I 値の推移



(注) H17 下期分までの値は BSI 値を 2 倍した数値で表示

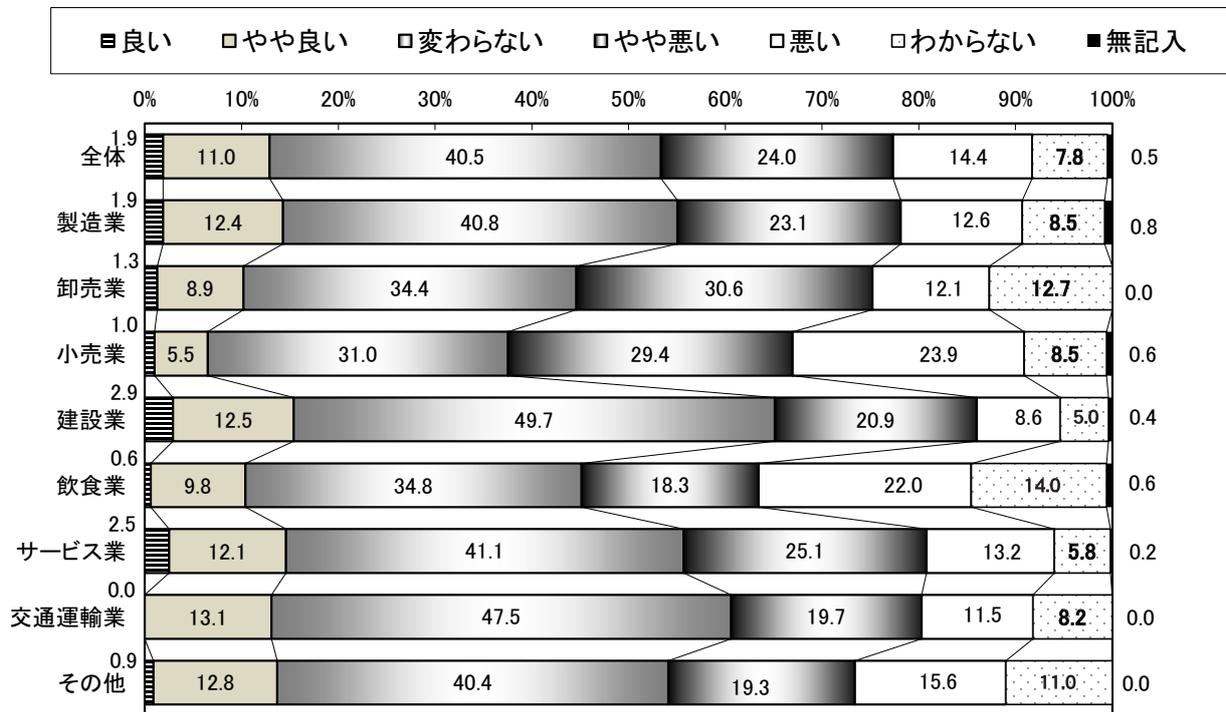
**b) 見通し（図－4参照）**

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が 12.9%、「やや悪い・悪い」は 38.4%で、D I 値は△25.5 となり、現状のD I 値と比較すると 3.7 ポイントの悪化を見通している。

業種別では、D I 値で建設業△14.1、交通運輸業△18.1、その他の業種△21.2、製造業△21.4、サービス業△23.7、飲食業△29.9、卸売業△32.5、小売業△46.8であった。

地区別のD I 値では、東紀州地区のみ現状より改善を見通している。北勢地区△23.1、中勢地区△27.1、伊賀地区△27.3、南勢地区△29.1、東紀州地区△37.7であった。

図－4 今後の見通しについて（業種別）



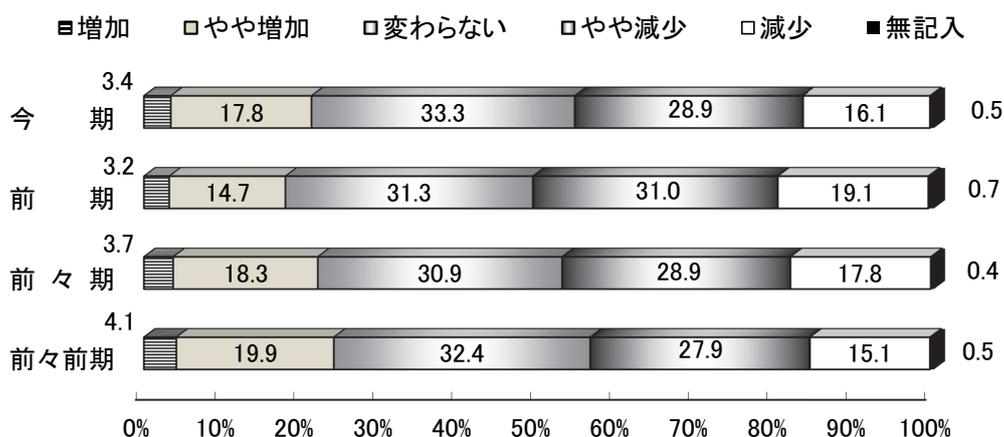
## 2. 最近の売上状況（図－5参照）

全体では、「増加・やや増加」が21.2%（前期17.9%）、「やや減少・減少」が45.0%（前期50.1%）で、D I 値は△23.8（前期△32.2）となり、8.4ポイント改善された。

業種別では、全ての業種において改善された。中でも、その他の業種が16.4ポイント、建設業が13.4ポイントとそれぞれ大きく好転した。

地区別のD I 値では、すべての地区で改善となった。北勢地区△19.8、伊賀地区△23.1、中勢地区△27.4、南勢地区△27.8、東紀州地区で△43.9であった。

図－5 売上状況



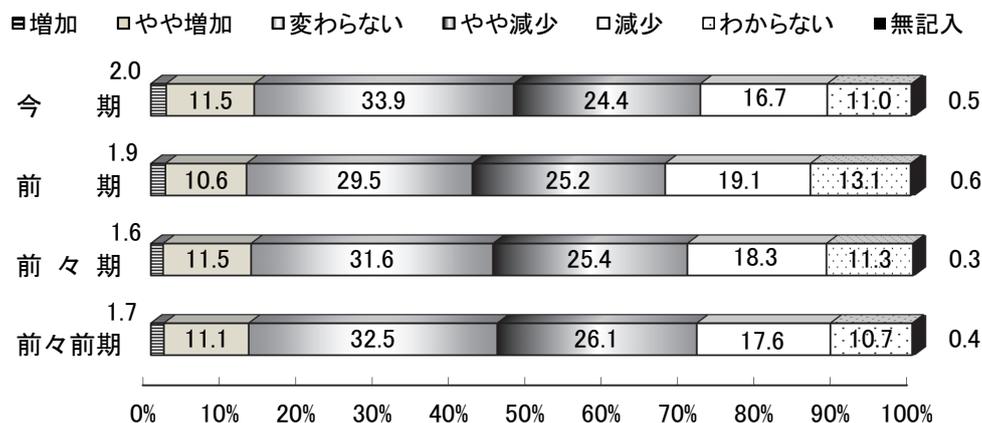
## 3. 今後の売上見通し（図－6参照）

全体では、「増加・やや増加」が13.5%、「やや減少・減少」が41.1%で、D I 値は△27.6となり、最近の売上状況D I 値と比較すると3.8ポイントの悪化を見通している。

業種別D I 値では、建設業△18.3、交通運輸業△21.4、サービス業△22.2、製造業△22.3、その他の業種△28.3、飲食業△32.3、卸売業△35.7、小売業△49.9であった。

地区別のD I 値では、中勢地区と東紀州地区で改善を見通している。中勢地区△25.5、北勢地区△26.0、伊賀地区△28.6、南勢地区△32.5、東紀州地区△39.7であった。

図－6 売上見通し



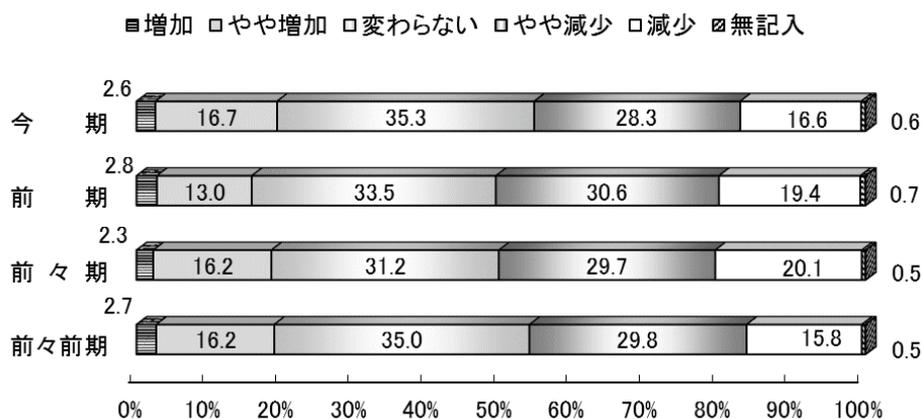
#### 4. 利益状況（図－7 参照）

全体では、「増加・やや増加」19.3%（前期15.8%）、「やや減少・減少」が44.9%（前期50.0%）で、D I 値は△25.6（前期△34.2）となり、8.6ポイント改善された。

業種別では、交通運輸業のみ3.5ポイントの悪化となり、それ以外の業種では改善がみられ、卸売業14.9ポイント、建設業12.1ポイント、製造業11.0ポイントそれぞれ好転した。

地区別のD I 値では、全ての地区で改善がみられた。北勢地区△21.5、中勢地区△27.0、伊賀地区△28.0、南勢地区△29.6、東紀州地区△47.9となった。

図－7 利益状況



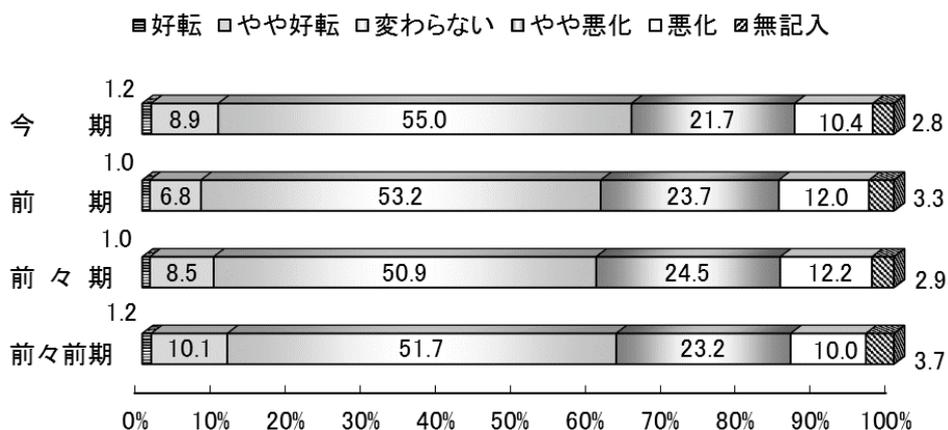
#### 5. 販売条件（図－8 参照）

全体では、「好転・やや好転」が10.1%（前期7.8%）、「やや悪化・悪化」は32.1%（前期35.7%）で、D I 値は△22.0（前期△27.9）となり、5.9ポイント改善された。

業種別では、飲食業のみ0.7ポイント悪化した。それ以外の業種では改善がみられ、交通運輸業16.5ポイント、卸売業9.5ポイント、建設業7.9ポイント、製造業5.8ポイント、小売業4.4ポイント、サービス業3.7ポイント、その他の業種1.6ポイントそれぞれ好転した。

地区別では東紀州地区のみ悪化となった。伊賀地区△14.8、北勢地区△20.1、中勢地区△21.2、南勢地区△24.8、東紀州地区△41.8となった。

図－8 販売条件



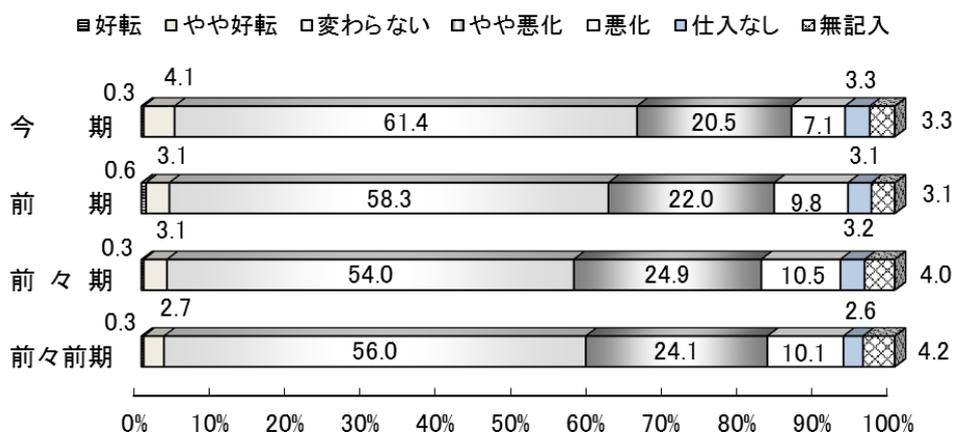
## 6. 仕入条件（図－9参照）

全体では「好転・やや好転」が4.4%（前期3.7%）、「やや悪化・悪化」は27.6%（前期31.8%）で、D I値は△23.2（前期△28.1）となり、4.9ポイント改善した。

業種別では、飲食業のみ2.3ポイント悪化した。それ以外の業種では改善が見られ、特に交通運輸業は13.0ポイントと大きく改善し、D I値も1.6とプラスの値となった。

地区別のD I値では、東紀州地区が0.1ポイントと僅かながら悪化し、その他の地区では好転した。伊賀地区△18.6、南勢地区△18.7、中勢地区△21.3、北勢地区△23.0、東紀州地区△41.8であった。

図－9 仕入条件



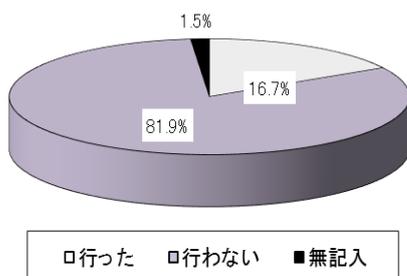
## 7. 設備投資（図－10・11参照）

全体では、設備投資を行った企業は475社、16.7%（前期14.0%）、設備投資を予定している企業は387社、13.6%（前期12.9%）と微増であった。

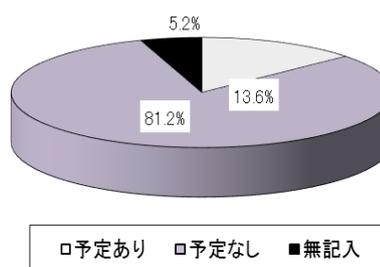
業種別では、前期同様、交通運輸業が29.5%で他業種より設備投資を行った割合が多いという結果となった。設備投資の予定についても、交通運輸業の27.9%が最も高い割合であった。

また、地区別では南勢地区が実績17.5%と最も高く、設備投資の予定は北勢地区の15.0%が最も高い割合であった。

図－10 設備投資の実績



図－11 設備投資の予定



## 8. 資金繰り状況と今後の見通し

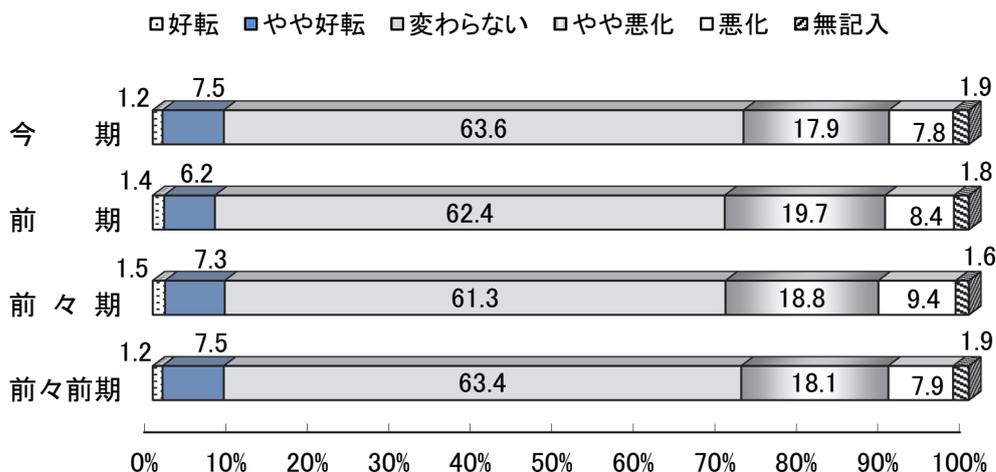
### a) 現状 (図-12参照)

全体では「好転・やや好転」が8.7% (前期7.6%) に対し「やや悪化・悪化」は25.7% (前期28.1%) で、D I値は△17.0 (前期△20.5) となり3.5ポイント改善された。

業種別では、その他の業種以外では改善され、交通運輸業は11.9ポイント改善した

地区別D I値では、東紀州地区のみ悪化した。伊賀地区△13.6、北勢地区△15.6、中勢地区△16.5、南勢地区△19.0、東紀州地区△30.9となった。

図-12 資金繰りの現状



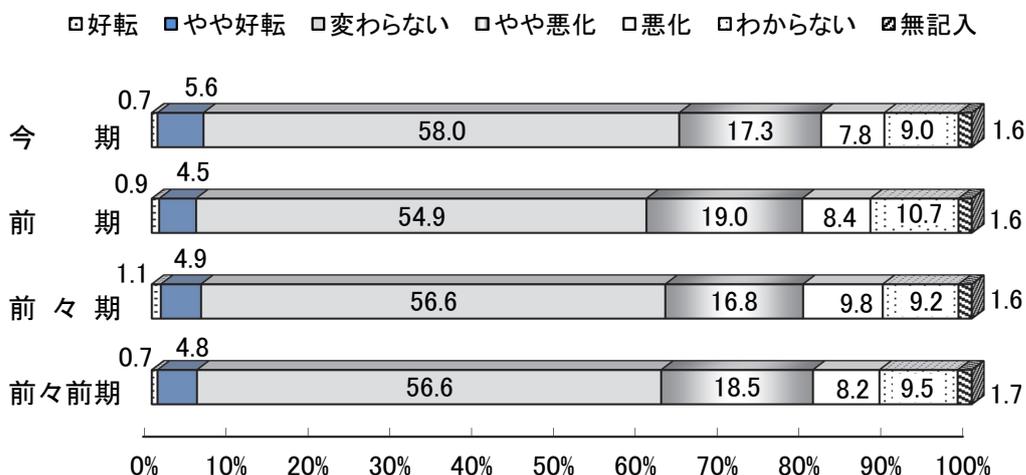
### b) 見通し (図-13参照)

全体では「好転・やや好転」が6.3%に対し「やや悪化・悪化」は25.1%で、D I値は△18.8となり現状のD I値と比較すると1.8ポイントの悪化を見通している。

業種別では、交通運輸業と小売業で現状のD I値より改善の見通しとなったが、それ以外の業種では悪化の見通しとなった。

地区別D I値では、東紀州地区のみ現状より改善を見通している。伊賀地区△16.8、中勢地区△17.7、北勢地区△18.0、南勢地区△19.0、東紀州地区△29.9となった。

図-13 資金繰りの見通し



## 9. 借入状況

### a) 現状

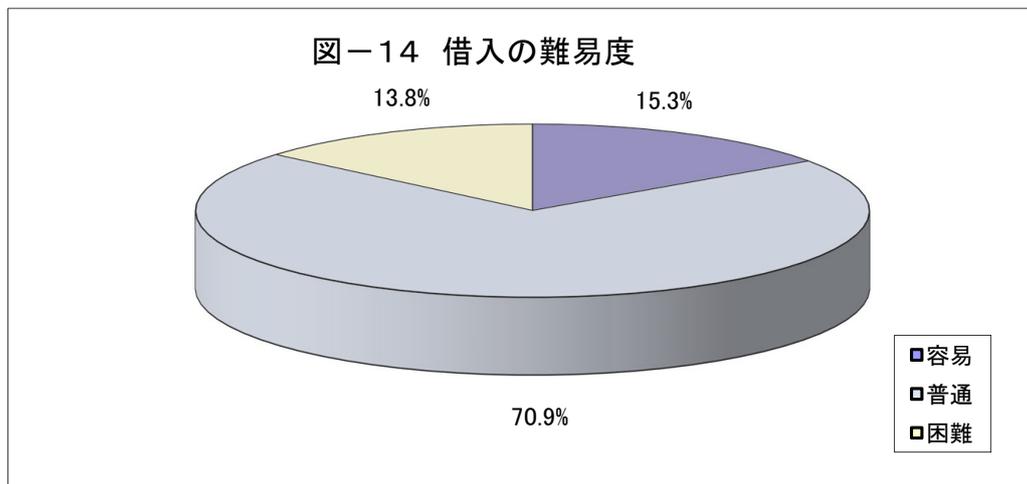
回答企業 2,849 事業所のうち、借入を実施した企業は、1,192 事業所、41.8%（前期 926 社、39.3%）であった。

### b) 借入の難易度（図－14・15参照）

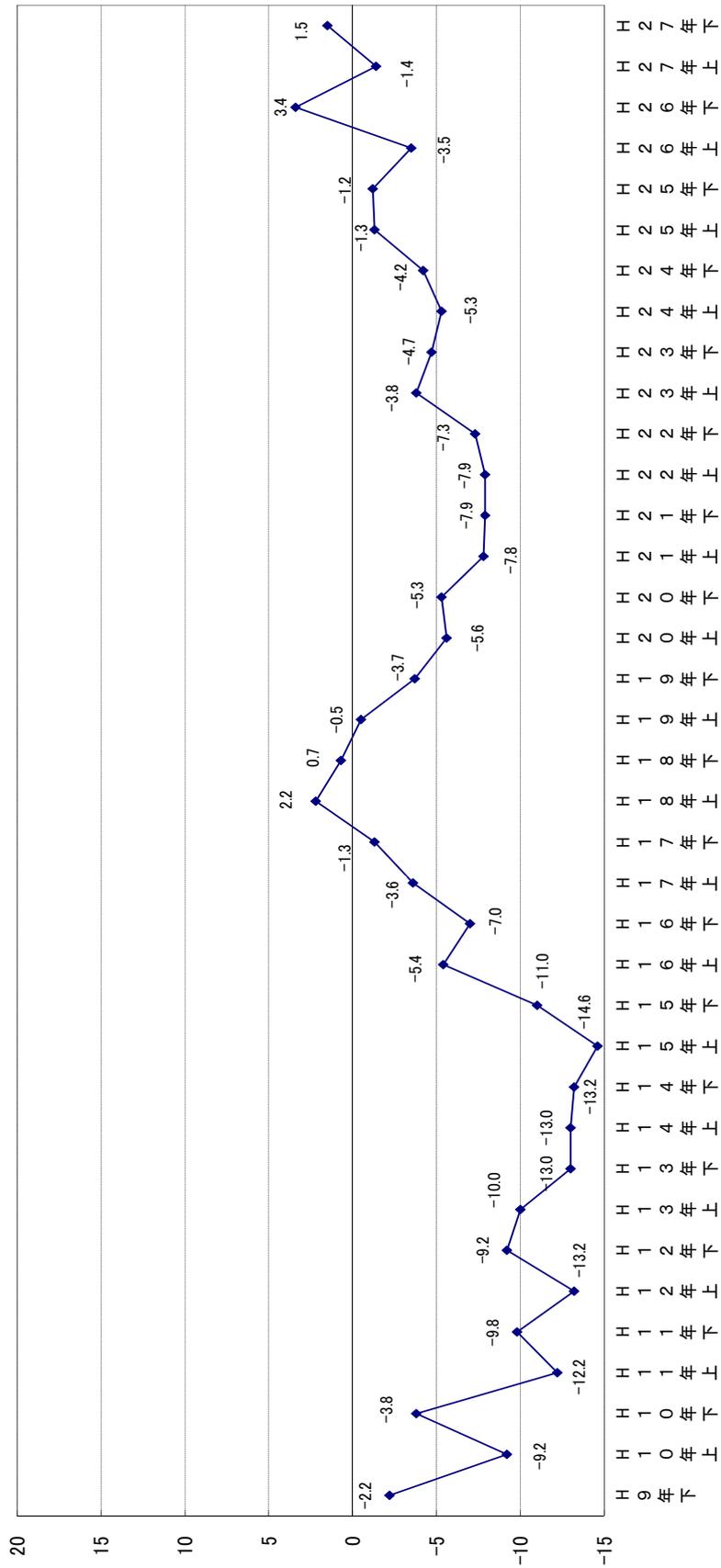
全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 15.3%（前期 14.3%）、「困難」は 13.8%（前期 15.7%）で、D I 値は 1.5（前期△1.4）となり、2.9 ポイント改善された。

業種別 D I 値では、飲食業以外で改善が見られた。

地区別 D I 値では南勢地区のみ 1.1 ポイント悪化し 6.1 であった。また北勢地区の D I 値△1.1 以外は全ての地区で D I 値はプラスの値となった。



図一15 借入難易度DI値の推移

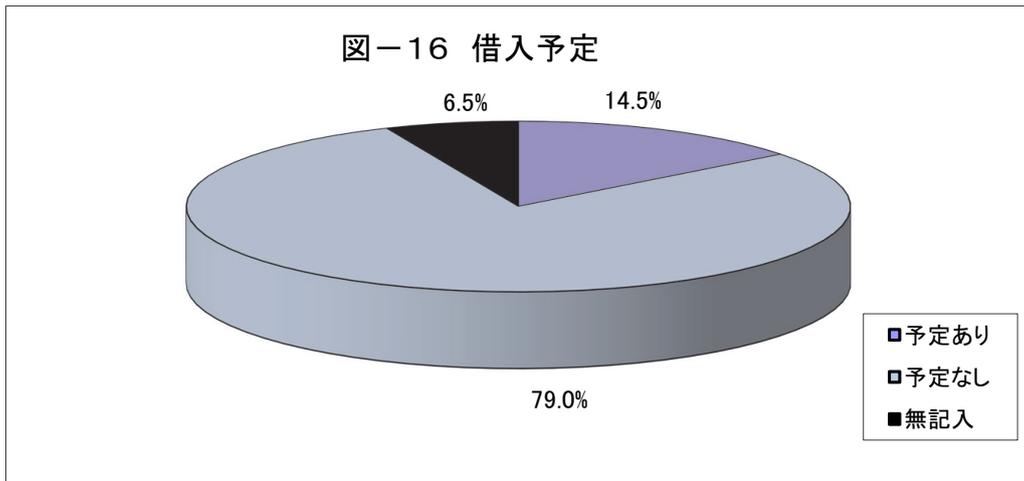


## 10. 借入予定（図－16 参照）

全体では、回答企業 2,849 事業所中、借入を予定している企業は 412 事業所、14.5%（前期 14.5%）であった。

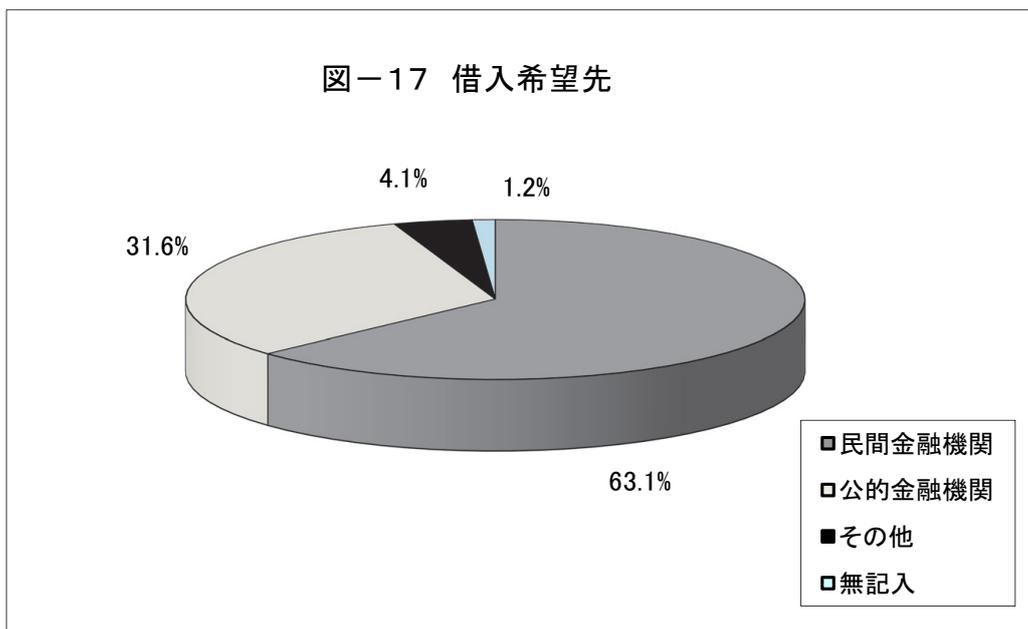
業種別でみると借入を予定しているのは、交通運輸業が 21.3%と最も高く、飲食業とサービス業が 9.8%と最も低かった。

地区別では、東紀州地区が 16.0%と最も高く、中勢地区が 12.0%と最も低かった。



## 11. 借入希望先（図－17 参照）

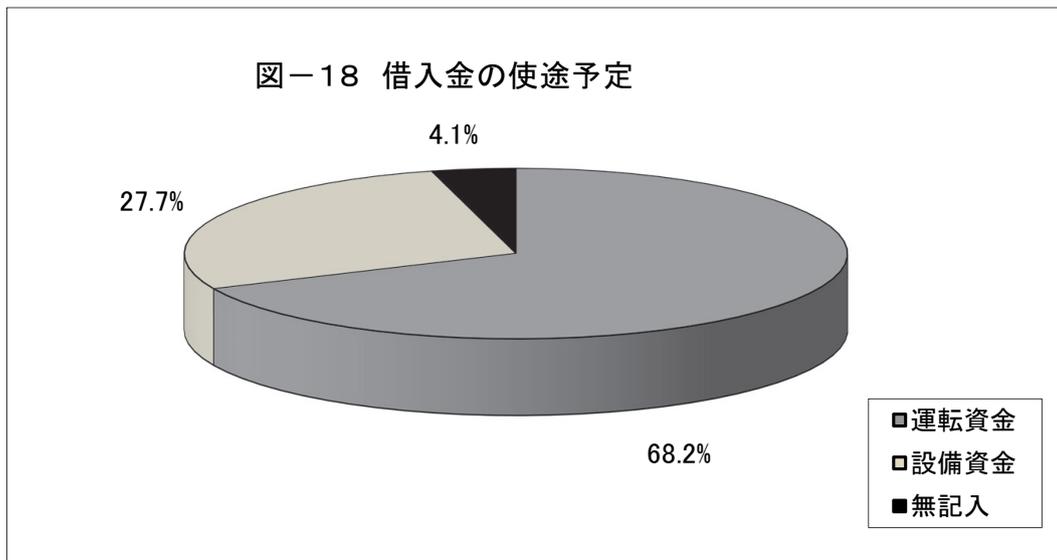
借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」は 63.1%（前期 62.5%）、「公的金融機関」は 31.6%（前期 31.7%）となった。



## 12. 借入金の使途予定（図－18 参照）

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が 68.2%（前期 70.1%）に対し、「設備資金」は 27.7%（前期 26.7%）であった。

業種別では、「運転資金」で卸売業が 84.6%、「設備資金」で交通運輸業が 61.5%とそれぞれ最も高かった。



## 13. 経営上の問題点（表－1 参照）

全体では、「売上・受注の停滞減少」46.9%（前期 50.0%）、「競争激化」23.1%（前期 25.7%）、「人手不足」22.2%（前期 17.5%）の順となった。上位2項目は変わらなかった。

業種別では、全ての業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多かった。2位の回答では、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種で得られた「競争激化」が目立った。

また、前期同様「設備店舗の狭小老朽化」が製造業、小売業、飲食業、サービス業の上位の問題点として挙がっており、その他「人材育成」が製造業、建設業、卸売業、その他の業種の上位となった。

表－１ 経営上の問題点（３項目以内複数回答）

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (47.0)	設備店舗の狭小老朽化 (22.5)	人材育成 (22.0)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (40.3)	人手不足 (38.7)	人材育成 (30.4)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (63.7)	競争激化 (36.9)	製品・商品単価の下落 (14.0)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (66.5)	競争激化 (33.7)	設備店舗の狭小老朽化 (21.5)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (45.1)	原材料高及び不足 (42.1)	設備店舗の狭小老朽化 (27.4)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (35.3)	競争激化 (25.1)	設備店舗の狭小老朽化 (22.3)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (39.3)	人手不足 (31.1)	人件費以外の経費増加 (31.1)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (36.7)	競争激化 (23.9)	設備店舗の狭小老朽化 ／人材育成 (21.1) ※同数
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (44.8)	人手不足 (25.2)	競争激化 (23.1)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (50.5)	競争激化 (25.6)	人手不足 (21.7)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (46.4)	設備店舗の狭小老朽化 (24.5)	競争激化 (20.8)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (48.4)	競争激化 (24.8)	人材育成 (17.4)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (55.2)	設備店舗の狭小老朽化 (21.1)	競争激化 (17.0)
総 合		売上・受注の停滞減少 (46.9)	競争激化 (23.1)	人手不足 (22.2)

## 県下商工会議所地域の景況

### ○桑名商工会議所地域

#### 現 状

景気の現状は「良い・やや良い」が20.7%（前期18.7%）、「変わらない」が37.3%（前期35.8%）、「やや悪い・悪い」が41.8%（前期45.0%）となった。D I値は△21.1（前期△26.3）となり、前期調査時に比べ5.2ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、今回は飲食業が△0.1（前期△0.1）と前期と同じ水準となったほか、建設業が△8.4（前期△17.6）とD I値のマイナス幅が一桁台に縮小した。その他の業種も卸売業が△14.8（前期△20.8）、製造業が△22.6（前期△23.9）、サービス業が△27.7（前期△29.1）、小売業が△36.9（前期△45.3）と業種により幅があるものの多くが改善傾向となった。一方で交通運輸業のみ△25.0（前期0.0）と悪化した。

#### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.7%、「変わらない」が37.1%、「やや悪い・悪い」との回答は38.6%、D I値は△24.9となった。

現状のD I値と比較すると、若干ながら業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると交通運輸業が0.0と前期水準への改善を見通すほか、製造業が△20.2、サービス業が△26.1と現在の水準より改善する見込みである。一方で他の業種は小幅な悪化を見通す業種が多くあり、全体の見通しを悪化させる結果となった。

#### 目立った変化等

今回の調査では飲食業が引き続きプラス手前の水準（D I値△0.1）を維持したほか、大半の業種で改善する結果となった。一方で今後の見通しについては慎重な見方が多く、この先も景況の改善が継続するか、はっきりと見通せない状況である。

経営上困っている問題について前期と同様に「売上・受注の停滞減少」が49.8%（前期47.7%）、「競争激化」が26.4%（前期23.8%）、「人手不足」が21.4%（前期20.4%）と上位を占めた。また、「人材育成」が18.7%（前期17.5%）と続いたほか、「人件費の増加」が9.5%（前期5.4%）に上昇しており、小規模企業においても人材を確保するため人件費が上昇しつつある状況が窺える。

### ○四日市商工会議所地域

#### 現 状

「良い・やや良い」が24.0%（前期調査時は23.2%）「変わらない」が40.1%（前期調査時は34.6%）、「やや悪い・悪い」が35.2%（前期調査時は41.9%）との結果となった。現状D I値は△11.2で前期調査時の△18.7より、7.5ポイント上昇した。

業種別に前期調査時値と比較すると、卸売業、サービス業以外の業種でD I値が上昇し、特に建設業については前期から13.8ポイント上昇してプラスに転じた。

#### 見 通 し

「良い・やや良い」が16.5%「変わらない」が49.5%、「やや悪い・悪い」が33.2%となり、D I値

は△16.7で前期調査時の△21.4より4.7ポイント上昇した。

業種別に前期調査時の見通しD I値と比較すると、卸売業、サービス業以外の業種でD I値が上昇し、現状D I値の変動と同じ傾向を示した。

### 目立った変化など

全体の景況感をはじめ、売上状況、利益状況、販売条件、仕入条件についても、全てのD I値が前期調査時と比べて上昇しており、景況感の改善が見られる。要因については、自由記述欄の建設業者からの回答で「設備投資の増加」「工事の増加」などがみられた。

経営上の問題点について見てみると、最も回答が多かったのは前期調査に続き「売上・受注の停滞減少」(41.7%)、2、3番目には前期調査と異なり「人手不足」(28.1%)「人材育成」(25.5%)が続き、人材に関する問題が主な課題となっていることが浮き彫りになった。

今回、現状D I値が上昇しプラスに転じた建設業に関して、経営上の問題点について見てみると、「人手不足(46.1%が回答)」、「人材育成(34.6%が回答)」の2項目が他の業種と比べ高い回答割合であった。このことから、建設業では大幅に景況感は改善しているものの、増えた仕事に対応するための人材の確保、育成が主な課題となっているようである。

一方、卸売業、小売業では「売上・受注の停滞減少(卸売業の60.5%、小売業の68.8%が回答)」「競争激化(卸売業の42.1%、小売業の33.8%が回答)」の2項目が他業種と比べ高い回答割合であった。このことから、卸売業、小売業では売上・受注の不振と競争の激化が主な課題となっているようである。

## ○鈴鹿商工会議所地域

### 現 状

対象977社 回答414社 回答率42.37%。「良い・やや良い」と答えた企業が17.0%(前期19.7%:前年同期22.9%)、「悪い・やや悪い」と答えた企業は46.4%(前期42.9%:前年同期40.8%)となった。また、D I値が△29.4(前期△23.2:前年同期△17.9)と前年同期より11.5ポイント悪化、前期より6.2ポイント悪化している。

業種別では、製造業D I値△18.7(前期△16.9:前年同期△13.0)、建設業D I値△9.8(前期△9.4:前年同期0)、卸売業D I値△33.3(前期△66.7:前年同期△57.2)、小売業D I値△62.9(前期△52.4:前年同期△48.9)、飲食業D I値△53.2(前期△25.9:前年同期△13.6)、サービス業D I値△28.1(前期△12.8:前年同期△36.4)となった。

### 見 通 し

「良い・やや良い」と答えた企業が10.4%(前期12.6%:前年同期11.1%)、「悪い・やや悪い」と答えた企業は44.2%(前期44.9%:前年同期46.0%)となった。また、D I値が△33.8(前期△32.3:前年同期△34.9)と前年同期より1.1ポイント改善、前期より1.5ポイント悪化している。

業種別では、製造業D I値△18.7(前期△25.3:前年同期△27.3)、建設業D I値△22.2(前期△18.7:前年同期△26.8)、卸業D I値△44.4(前期△33.3:前年同期△57.1)、小売業D I値△65.3(前期△49.2:前年同期△58.1)、飲食業D I値△53.2(前期△55.5:前年同期△50.0)、サービス業D I値△32.9(前期△36.2:前年同期△39.3)となった。

### 売 上

「増加・やや増加」と答えた企業が20.1%(前期20.5%:前年同期26.0%)、「減少・やや減少」と答えた企業は49.2%(前期48.9%:前年同期44.3%)となった。また、D I値が△29.1(前期△28.4:前年

同期△18.3)と前年同期より10.8ポイント悪化、前期より0.7ポイント悪化している。

## 利 益

「増加・やや増加」と答えた企業が17.4%(前期15.7%:前年同期20.7%)、「減少・やや減少」と答えた企業は48.7%(前期47.1%:前年同期47.1%)となった。また、D I値が△31.3(前期△31.4:前年同期△26.4)と前年同期より4.9ポイント悪化、前期より0.1ポイント改善している。

## 目立った変化等

全体D I値において、前期調査時よりも現状D I値が悪化を示し、その他の見通し・売上・利益D I値については横ばいとなった。業種別では、現状D I値が卸売業において33.4ポイント改善しているが、それ以外の現状D I値は全ての業種において悪化となった。

全体のD I値が悪化した要因としては、中国経済の減速による影響が徐々に現れつつあり、特に鈴鹿の特色である自動車部品製造関係などの下請け企業への影響が出始めている。また、昨年2月初めから大手自動車製造工場において減産を開始し、現在も減産を継続中であることが大きく影響を及ぼしていると考えられる。政府が推進している景気浮揚策の好影響も限定的であり、地方の中小企業・小規模事業者まで好影響が認められず、中国経済や自動車関連などのマイナス要因により鈴鹿市全体の景況について不透明感があり、改善する要因が乏しいため、今後も横ばいもしくは悪化となると推察される。

## ○亀山商工会議所地域

### 現 状

全体では、「良い・やや良い」が26.0%(前年同期20.6%)、「やや悪い・悪い」が35.3%(前年同期43.1%)となり、D I値は△9.3で、前年同期△22.5より13.2ポイント改善した。

業種別D I値では、製造業が前期△43.5から47.5ポイント改善し4.0、建設業は△27.8から36.9ポイント改善し9.1と大きく好転した。その他のD I値は、飲食業14.2、交通運輸業25.0、サービス業△16.0、小売業△36.4でそれぞれ前期値より改善という結果となった。卸売業は前期同様△50.0、その他の業種のみ前期より25.4ポイント悪化し△14.3という結果となった。

### 見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が12.6%(前年同期9.8%)、「やや悪い・悪い」が31.9%(前年同期41.2%)となり、D I値は△19.3で、こちらも現状同様、前年同期△31.4より12.1ポイント改善した。

業種別に見てみると、製造業・建設業、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業で改善の見通しとなった。飲食業、その他の業種については悪化の見通しとなった。

## 目立った変化等

全体では、売上状況、見通し、販売条件、仕入条件等全ての項目において前期D I値より好転した。依然、厳しい状況ではあるが緩やかな回復基調にあるといえる。

業種別では、飲食業の現状は前期に比べ改善されているが、今後の見通しについては悪化の見通しという結果であった。今年5月には伊勢志摩サミットが開催され、東西交通の幹線である「東海道」から伊勢方面への分岐点である当地域もその経済効果が期待される中、消極的な見通しとなり、今後注視していきたい。

経営上困っている問題については、「人手不足」「人材育成」を課題として挙げる事業所がこれまでと比較し増えてきた。

## ○津商工会議所地域

### 現 状

「良い・やや良い」が24.6%（前期11.9%：前年同期23.0%）、「やや悪い・悪い」が39.3%（前期45.1%：前年同期39.3%）、D I値が△14.7（前期△33.2：前年同期△16.3）と前期より18.5ポイントマイナス幅が減少し、D I値は改善する結果となった。

業種別では前期D I値と比較してサービス業で横ばいの他、全ての業種で改善が見られた。一方で小売業は前期D I値が△25.0、今期D I値が△30.0と緩やかに減少しており、卸売業は前期D I値が△55.5、今期D I値が△54.6と横ばいとなり、停滞気味の推移となった。

### 見 通 し

「良い・やや良い」が11.0%（前期12.5%：前年同期14.7%）、「やや悪い・悪い」が38.2%（前期42.0%：前年同期41.5%）、D I値は△27.2（前期△29.5：前年同期△26.8）と前期より2.3ポイントマイナス幅が減少する見通しとなっている。業種別では交通運輸業と飲食業で改善の見通しで、その他の業種では横ばい又は悪化の見通しを示している。

### 目立った変化等

経営上の問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が最も多く48.2%となった。次いで「人手不足」27.7%、「競争激化」25.1%となった。「人手不足」は、前期23.8%と前々期20.2%と高い数値を示しており、上昇を続けている。人材確保での課題が表面化していることがうかがえる。

その他「借入難」は今回1.6%、前期5.7%と数値を下げている。同じく「原材料高及び不足」も今回8.4%、前期19.2%と数値を下げている。

特に「原材料高及び不足」は製造業においては23.5%、前期29.7%、小売業においては0%、前期35.0%となっており、原材料市場の変化が見られた。また、建設業では「人手不足」は43.1%、前期42.2%と高い割合を示す結果となった。

## ○松阪商工会議所地域

### 現 状

全体では「良い・やや良い」が15.9%（前期11.7%）、「やや悪い・悪い」が45.9%（前期49.9%）となり、D I値は△30.0（前期△38.2）で前期に比べ8.2ポイント改善している。

業種別では、小売業、交通運輸業が悪化した。それ以外の業種は改善した。

### 見 通 し

全体では「良い・やや良い」が11.6%（前期11.6%）、「やや悪い・悪い」が38.7%（前期40.2%）となり、D I値は△27.1（前期△28.6）で前期に比べ1.5ポイント改善の見通しとなっている。

業種別では、卸売業、小売業、飲食業、その他の業種を除く全ての業種で改善の見通しとなっている。

### 目立った変化等

経営上困っている問題点として、1位は「売上・受注の停滞減少」が51.7%で最も多く、2位は「競争激化」25.9%、3位は「設備店舗の狭小老朽化」20.9%という結果となった。

## ○伊勢商工会議所地域

### 現 状

全体では「良い・やや良い」が 15.7%（前期 8.9%）、「やや悪い・悪い」が 43.6%（前期 53.1%）、D I 値△27.9（前期△44.2）と前期に比べ 16.3 ポイント改善している。

業種別では、前期に比べサービス業で 10.5 ポイント、小売業で 7.3 ポイントと悪化しているが、飲食業は 89.3 ポイント、製造業は 34.7 ポイントと大きく改善している。

### 見 通 し

全体では「良い・やや良い」が 11.0%（前期 8.8%）、「やや悪い・悪い」が 41.3%（前期 43.1%）、D I 値△30.3（前期△34.3）と前期より 4.0 ポイント改善している。

業種別では、サービス業、建設業が悪化の見通しであるが、その他の業種では改善の見通しとなっている。

### 目立った変化等

経営上の問題点として、全体では前期に引き続き、「売上・受注の停滞減少」が 46.5%と最も多く、次いで「競争激化」20.9%、「設備店舗の狭小老朽化」18.0%の順となっている。

業種別では、飲食業は「設備店舗の狭小老朽化」、交通運輸業は同率で「人手不足」「人件費以外の経費増加」、その他の業種は「売上・受注の停滞減少」が第 1 位となっている。その他で目立った項目として、建設業で「人材育成」（前期 15.8%）の割合が前期の倍以上の数値となり、第 2 位に順位を上げた事が挙げられる。

## ○鳥羽商工会議所地域

### 現 状

全体では「良い」・「やや良い」があわせて 26.5%、「やや悪い」・「悪い」があわせて 44.1%、D I 値△17.6（前期△26.4）と前期よりも 8.8 ポイントと改善している。業種別ではすべての業種が改善しており、特に建設業では△0.1（前期△31.3）、サービス業では△36.8（前期△65.5）と大幅な改善となった。

今後の見通しについては、「良い」・「やや良い」との回答は 11.8%、「やや悪い」・「悪い」の回答については 39.2%。D I 値は△27.4（前期△25.6）で、前期より 1.8 ポイント悪化の見通しとなった。

最近の売上状況については全体では全体では「増加」・「やや増加」が 26.5%、「やや減少」・「減少」が 46.1%、D I 値△19.6（前期△24.3）となっている。

### 見 通 し

見通しについては全体では「増加」「やや増加」が 11.8%、「やや減少」・「減少」が 49.0%、D I 値△37.2（前期△23.6）と 13.6 ポイント改善する見通し。業種別ではサービス業が△78.9（前期△37.9）と大きく悪化する見通しとなった。

### 目立った変化等

経営上困っている問題では、上位に「売上・受注の停滞減少」、「設備店舗の狭小老朽化」、「人手不足」が占めている。

## ○上野商工会議所地域

### 現 状

全体では、「良い・やや良い」が12.5%（前期21.3%）、「やや悪い・悪い」が46.5%（前期44.2%）、D I値が△34.0（前期△22.9）で、前期に比べ11.1ポイント悪化している。

業種別のD I値を見ると、製造業が△23.4（前期△38.9）、建設業が△40.0（△54.6）と改善が見られる一方で、小売業△43.8（前期△11.8）と大きく悪化する結果となった。

### 見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が7.1%（前期13.1%）、「やや悪い・悪い」が37.5%（前期45.9%）、D I値が△30.4（前期△32.8）で、前期に比べ2.4ポイント改善した。

業種別のD I値は、製造業・建設業・卸売業・飲食業で改善の見通しを示す一方、小売業・サービス業では悪化の見通しを示している。

### 目立った変化等

資金繰りの現状について、D I値が△21.5（前期△0.1）と前期に比べて大幅に悪化している点が目立った。

また、経営上困っている問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が42.9%と最も多く回答が得られたほか、2位が「人件費以外の経費増加」（21.4%）と「競争の激化」（21.4%）が同率で、前期と比べて上位3項目は変動がなかった。この他では、「原材料高及び不足」が10.7%（前期24.6%）と前期に比べ大幅な改善が見られた。

## ○名張商工会議所地域

### 現 状

全体では「良い・やや良い」が21.9%、「やや悪い・悪い」が44.8%で、D I値は△22.9（前期△39.0）となり、前期より16.1ポイント改善された。

全体的に改善されており、業種別に見ると、特に卸売業は37.5ポイント、建設業は19.0ポイント、サービス業は16.5ポイントも改善されていた。

### 見 通 し

全体では「良い・やや良い」が16.2%、「やや悪い・悪い」が41.9%で、D I値は△25.7（前期△35.2）となり、前期より9.5ポイント好転という見通しとなった。

現状と同様に、見通しも全体的に改善されており、業種別に見ると、特に卸売業は25.0ポイント、建設業は18.5ポイントも改善されていた。

### 目立った変化等

現状D I値、見通しD I値など業種別に見ても、ほとんどのD I値が前期より大幅に改善しており、小規模事業所にとっては景気が下降から上昇に転じる回復傾向に入ったとみられる。

経営上困っている問題として「売上・受注の停滞減少」が51.4%（前期48.6%）で最も多く、次いで「競争激化」が26.7%（前期33.3%）で2位、「人材育成」が21.0%（前期26.7%）で3位となった。

問題の上位3つの順位は前期と同様であるが、全体的に見ると経営上困っている問題の総選択数は105社で190（前期は105社で総選択数が219）と、経営上困っている問題の数が少なくなっている傾向が見られた。

## ○尾鷲商工会議所地域

### 現 状

全体では、「良い・やや良い」が10.7%、「変わらない」が39.3%、「やや悪い・悪い」が50.0%、D I値は△39.3（前期△50.7）と前期より11.4ポイント改善している。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が6.4%、「変わらない」が29.3%、「やや悪い・悪い」との回答は42.1%、D I値は△35.7（前期△42.8）となり、前期のD I値と比べて7.1ポイント改善している。

### 目立った変化等

経営上困っている問題点については、「売上・受注の停滞減少」との答えが前期よりも4.8%減少したが、57.1%と相変わらず最も多かった。

次いで、「設備店舗の狭小老朽化」との答えが7.7%増加し、23.6%となり、「原材料高及び不足」17.9%の順であった。

その他目立った変化として業種別D I値では、「製造業」・「建設業」・「卸売業」・「小売業」が改善している中で、「サービス業」のみ悪化している。

見通しにおいては「卸売業」において前期D I値と比べて42.3ポイント改善している。

今回の調査においては人口減少を懸念する意見が多くあり、小売業では交通網整備による顧客流出に改善の見通しが立たない状況である。

## ○熊野商工会議所地域

### 現 状

全体では、「良い・やや良い」が14.9%（前期5.1%）、「やや悪い・悪い」が57.4%（前期59.3%）となり、D I値は△42.5で、前期△54.2より11.7ポイント改善した。

業種別に前期調査時の現状D I値と比較すると、卸売業、小売業以外の業種ではD I値が上昇した。中でも建設業は33.3（前期△66.7）と100.0ポイント上昇し、大幅な改善となった。

### 見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が11.1%（前期3.4%）、「やや悪い・悪い」が53.7%（前期42.3%）となり、D I値は△42.6で、前期△38.9より3.7ポイント悪化した。

前期調査時の見通しD I値と比較しても、多少のポイントの上昇が見受けられる業種はあるが、依然として全ての業種で見通しが悪い結果となった。

### 目立った変化等

今回の調査では、現状の「良い・やや良い」の回答が若干増加、「やや悪い・悪い」の回答が若干ではあるが減少しており、全体的にみると27年度上期にくらべ改善している。

見通しでは、「やや良い」の回答が若干増加したが、「良い」の回答が無く、「やや悪い・悪い」の回答が増加したため、全体的にみると悪化していると見られる。

経営上困っている問題として、「売上・受注の停滞減少」が最も多く50.0%と、前期調査時59.3%より減少しているが高い数値が続いている。次いで「競争激化」18.5%、「人件費以外の経費増加」16.7%となった。

# 景況調査票

平成28年1月

会議所	No.

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

## I. 企業の概要

### 1. 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
	6. 化学製品	7. 土石窯業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈建設業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈卸売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈小売業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈飲食業〉	21. 飲食店				
〈サービス業〉	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

### 2. 常時従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

## II. 企業の経営状況について

### 3. 現状について…平成27年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---

理由:

### 4. 今後の見通しについて…平成28年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---	----------

理由:

### 5. 売上状況について…平成27年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少
-------	---------	----------	---------	-------	---

### 6. 売上の見通しについて…平成28年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	---	----------

### 7. 利益状況について…平成27年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少
-------	---------	----------	---------	-------	---

### 8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成27年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化
-------	---------	----------	---------	-------

### 9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成27年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化	6. 仕入なし
-------	---------	----------	---------	-------	---------

### 10. 設備投資について

27年7～12月の実績		28年1～6月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

### 11. 資金繰りの現状について…平成27年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化
-------	---------	----------	---------	-------

### 12. 資金繰りの見通しについて…平成28年1～6月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	----------

### 13. 借入の現状について…平成27年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

### 14. 借入予定はありますか…(平成28年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

### 14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

### 14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

### 15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

### 16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

( )

ご協力ありがとうございました。